



全州大_学校
私にとって友愛とは

2024年版

公益財団法人 友愛 編

全州大学校 小論文コンテスト (奨学金対象)
私にとって友愛とは 2024年版

∞ ∞ ∞ 目 次 ∞ ∞ ∞

感想文	友愛賞	Park Jiyong	…	1
	第二位	Lim Hane	…	3
	第三位	Lee Songhyun	…	5
	第三位	Lee Kunwoo	…	7
	第三位	Jong Bosung	…	9
	入 選	Lim minwook	…	1 1
	入 選	Park urunsan	…	1 3
	入 選	Kim Yehoon	…	1 5
	入 選	Kim Jaeho	…	1 7

友愛と竹

朴智勇 Park Jiyong

私の考える友愛とは、友情や愛情を通じて他者を思いやり、互いに助け合うことである。それは人間関係の基本であり、人と人が、国境を越えて互いに支え合い、理解し合い、共に成長するための基盤となる重要な概念であると考えている。そして、私はこれを「竹」で象徴することができると思う。思い返すと、私が京都の嵐山の竹林の脇道に訪れた時のことである。竹は空高く伸び、竹同士が美しく調和し絡み合っていた。その緑のトンネルがみせる光と影の美しい光景は、今でも忘れられない。一本の竹を見て美しいと思う人は少ないかもしれないが、竹はその成長過程で他の竹と密接に絡み合い、支え合いながら竹林を形成し、人はその全体を見てはじめて美しいと思うはずである。また、竹は地面に深く根を張り暴風雨にも倒れないほどの強さを持つと同時に、強風が吹くとしなやかに揺れ、その柔軟性によって折り曲げられることなく生き延びることができるという性質を持つ植物である。このように竹は個々の強さと柔軟さ、そして竹同士の支え合いと共存があってこそ美しい竹林を形成できるのである。このような竹の性質は、まさに私が思う友愛の本質であり、それを象徴するものだと思う。

それでは、竹になぞらえて今の日韓の関係を説明してみよう。日本と韓国は同じ東アジア文化圏に属する国として、人種、文化、地理、歴史、社会のあらゆる面において極めて近い関係にある。しかし、現在の日韓関係は、歴史認識の相違や政治的・経済的な対立、メディア教育による偏見などが、双方の誤解や不信感を増幅させ、協力や友好関係の構築を妨げる主要な原因となっている。これはまるで、竹が同じ土壌かつ隣で根を張りながらも、その成長過程で調

和や絡み合いができず、美しい竹林が形成されない非現実的な状態のようである。しかし、日韓も竹のような友愛の精神を心掛け、互いの文化や歴史を尊重し、理解し合う努力を続けるならば、共に繁栄し、友好関係を築けるに違いないと思う。竹が根を張り絡み合うことで暴風雨に倒れないように、しなやかに揺れることで強風を耐え抜くように、日韓関係も強い絆を持ち、柔軟な姿勢を持つことで、困難な問題を乗り越え大きな成長を遂げられるであろう。私は京都大学での留学時代、11か国からなるクラスメートや、書道部および環境サークルの仲間たちに出会った。彼らとは今でも定期的に連絡を取り合い、彼らが韓国に来てくれた際には観光案内をしたり、私もまた皆と台湾やタイなどに旅行したりと、活発な交流を続けている。異なる文化や背景を持つ彼らとの関係は、まるで竹の地下茎がしっかりと繋がっているように、強くしなやかな絆を形成している。このような、多様な文化と価値観の中で育まれた友情は、まさに竹のような強さと柔軟性を兼ね備えている。これこそが、私の考える友愛の理想であり、その実践例でもある。



私にとって友愛とは？

Lim Hane

人間は社会的な動物であり、他者との関係の中で生きています。その中で最も基本的かつ重要なのが友愛だと思います。友愛とは、単にお互いが好きで一緒に時間を過ごすだけでなく、お互いを理解し、尊重し、助け合い、支え合う深い感情的な絆を意味すると思います。この小論文では、私が考える友愛の意味について議論したいと思います。まず、友愛の特徴を見て、次に、私にとって友愛がなぜ重要なのか、そしてどのような友愛を追求しているのかについて、私の経験と考えをもとにお伝えします。

1. 私が考える友愛の特徴

友愛には様々な定義がありますが、私にとって友愛は「自発性、平等性、信頼、支持、共感」の5つの特徴があります。友愛は強制や義務感によって形成されるものではありません。お互いが対等な存在としてお互いを尊重し、思いやる関係です。友愛は、お互いに信頼し、頼れる関係です。お互いに困難なときに助けと慰めを提供する関係です。また、お互いの気持ちを理解し、共感する関係です。

2. 私にとっての友愛の意味と友愛に関する経験

友愛は私の人生において非常に重要な位置を占めています。友愛は人生の楽しさと慰めを与え、困難を克服する力を与えてくれます。

また、友愛は私が成長し、発展するのに役立ちます。

友愛は単に楽しい時間を過ごすこと以上の意味を持ちます。本当の友愛とは、お互いに本音で素直に心を開き、お互いの不足を理解し、容認できる関係です。また、友愛は家族のような関係だと思い

ます。家族はお互いを自分自身の様に愛する関係です。お互を信じて頼り、お互いのすべてを理解し、共感する関係です。

友愛は深い関係であればあるほど、気をつけなければなりません。いつも味方になってくれることがあまりにも確実になってしまい、相手を大切にするのではなく、当たり前のように思ってしまうことがあります。友愛がいかに大切なものであるか、また、いかに思いやりを持って接する必要があるかを実感しなければいけません。

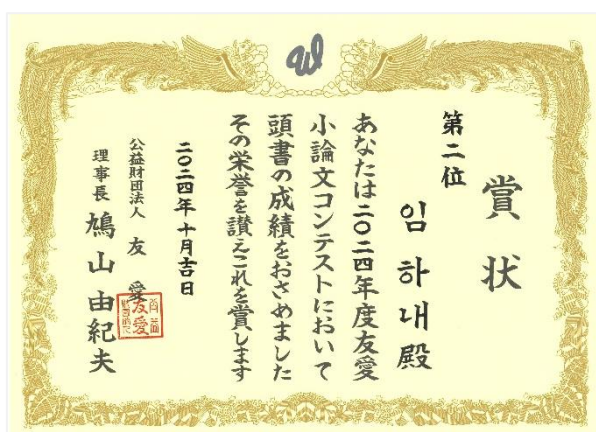
3. 私の求める友愛

「誠実で率直な友情、尊敬と思いやり、サポートと励まし、成長と発展」を持つ友情を追求しています。

お互いに誠実で素直に心を開くことができる関係を求めています。お互いの個性や価値観を尊重し、思いやりを持ち、お互いの夢や目標をサポートし、励まし合える関係を望んでいます。

友愛は一人では成り立ちません。人と人との繋がりです。自分の隣人を大切にし、当たり前だと思わずに生きていかなければなりません。自分の周りの人だけでなく、たとえそれが通りすがりの縁であっても、その人とどのような友愛関係が生まれるかわからないので、常に誰にでも心から愛をもって接することが大切だと思います。

友愛関係を通して、私たち一人一人だけでなく、この世界に平和が訪れることを願います。



私にとって友愛とは？

李松滋 Lee Songhyun

友愛は人間関係と社会的連帯を重視する重要な価値である。鳩山由紀夫前首相の友愛というテーマで講演を聞いてから私にとって友愛は個人と社会の両方にとって、さらには世界的に持続可能な発展のための必須要素だという気がした。この小論文では「友愛」が私にどんな意味を持つのか、そして日常生活でどのように具現できるのかを考察しようと思う。

1. 私にとって友愛の定義と意味

友愛は単に友人間の愛を越え、人間同士の深い理解と尊重、そして協力を意味する。これはすべての人間関係で重要な要素として作用し、互いに異なる背景と経験を持った人々が互いを尊重し理解し、共に成長していく過程を含む。私にとって友愛とは、他人との関係で信頼と尊重を基盤とした相互作用を意味し、これは個人の幸福だけでなく社会の調和と繁栄にも寄与する。

2. 友愛の大切さ

現代社会では個人主義と競争が強調され、人間関係が疎かになりやすい。しかし、友愛はこのような傾向を克服し、共同体意識を回復するのに重要な役割を果たす。私にとって友愛は生活の質を向上させ、精神的な安定感を提供する重要な価値だ。これは家族、友人、同僚との関係だけでなく、地域社会と国家間関係にも適用できる。

3. 日常生活での友愛具現

友愛を実践するためには、まず他人を理解し尊重する心構えが必要である。これは傾聴、共感、配慮を通じて表すことができる。

例えば、友人や家族の悩みを心から聞いて、彼らの立場で考えて助言を提供することが友愛の一形態だと思う。また、社会的弱者や疎外された隣人を助け、共に進むことも重要な実践方法である。このような小さな行動が集まって、より大きな社会的変化を引き出すことができる。このような小さな行動が、ひいては世界の平和と安定をもたらすと信じている。

4. 友愛が社会に与える影響

友愛は個人間の関係を越えて、社会全体に肯定的な影響を及ぼす。これは社会的連帯を強化し、葛藤を減らし、協力を増進させる役割をする。さらに、友愛は平和で公正な社会を作るのに寄与することができる。鳩山由紀夫先生が強調したように、友愛は経済的成長だけでなく社会的安定を成し遂げる上でも必須の要素である。

友愛は私にとって社会の調和と世界的平和を成す重要な価値だ。これは他人との信頼と尊重を土台にした相互作用を通じて具現でき、個人の人生だけでなく社会全体にも肯定的な影響を及ぼす。鳩山由紀夫前首相が提示した「友愛」の概念は、今日の私たちにも多くの示唆点を提供し、持続可能な社会と国家間の平和を作るための重要な価値として残ると思う。地球温暖化問題のように全世界が共同で解決しなければならない問題は、友愛の理念がより重要である。友愛を基にした国際的協力と連帯は、地球温暖化問題解決の核心になりうると考える。



私にとって友愛とは

李乾祐 Lee Kunwoo

昨年、全州大学校の名誉博士学位授与式での講演に続き、今回の友愛特講まで、新しい見方と思考を施してくださった鳩山由紀夫先生と友愛財団の皆様に深く感謝申し上げます。

私は本小論文を通じて友愛を個人と国家のレベルでそれぞれ定義したいです。

東日本大震災から 1 年たった 2012 年、当時中学生だった私は、日本の災害復旧状況を世界に広く知ってもらおうという目的の政府主導の日韓交流で、韓国の学生代表団の一員として東京都と埼玉県に訪れたことがあります。韓国の学生代表団の青少年たちと日本の関係者たちは相手の言語と文化に慣れていませんでした。しかし、私たちには相互理解と災害克服という共通の目標がありました。危機を克服するために各自の言語を超えて真心を分かち合う貴重な経験をしたおかげで、現在私は多くの日本人の友達と交流しており、今までも埼玉県をもう一つの故郷と思っています。

個人レベルでの友愛は、このようにお互いの違いを理解し、真心を分かち合おうとする気持ちだという結論を下しました。

一方で国を構成する個人として、この友愛の精神を国際関係にも適用するために国のレベルで再定義し、方法について悩む必要があると思います。

友愛特講があった 5 月 27 日は日中韓が 5 年間の断絶を打破し、首脳会議を再開した大転換の日でした。北韓からの軍事衛星発射の通報で東アジアでの対立と緊張が高まった悲しい日でもありました。激しい対立の場である韓半島に、国家間の友愛の精神を発揮した前例があります。世界唯一の分断国家である韓国と北韓には、韓国戦

争中に別れた後、分断によって会えなくなった「離散家族」がいます。この離散家族問題の解決に向けて、韓国と北韓は 1971 年に休戦以来初めて意見を一致させました。親子、兄弟と姉妹が一生お互いの生死さえ知らずに、母猿断腸の苦痛の中で生きてはいけないという理由でした。人利を尽くすために理念と体制の違いをしばらく置き、長い努力をかけて別れた家族が再会できるようにしたのです。国家レベルでの友愛とは人道主義に基づき、問題解決のために協力するというナショナリズム的記憶を作ることだという結論を下しました。もし交流が中断されても、いつでも再開できる当為と先例を残そうとする高貴な精神です。

総合的には、私にとって友愛は未来を開く鍵であるという結論です。友愛精神の起源となった本『全体家対』の終章には『人間は支配ではなく、発展を望む』という文章があります。友愛の精神を涵養するための旅程は、すなわち和合と疎通を望む人間の本性を取り戻す旅程です。簡単なことではありませんが、正しいことだと判断します。そのため、私は嬉しい気持ちで友愛の人生を一生実践しようと思います。



「私にとって友愛とは？」 —輝く未来のために—

鄭普丞 Jong Bosung

1. 始めに

友愛には元々色々な種類があります。親子の間の愛、兄弟と姉妹間の愛、夫と妻の間の愛、愛犬と主の愛など、人々は自らの友愛を探します 私にとって友愛とその意味とその理由を皆様にお伝えします。

2. 私にとって友愛とは？

その中で、私にとって友愛とは「輝く未来を作るためのみちしるべ」です。兄弟や親子の愛も必要ですが、友愛が広がれば人と人から国と国までつながり、良い未来を作ることこそ私の望みです。

3. だが、それは簡単に叶わない。

鳩山由紀夫元総理の講演の中で国の戦争や人の戦いで平和の道は遠くなっています。なぜなら、各々の価値観の影響で平和を作るとは当然難しいからです。そして、友愛に重要なのは相互尊重、相互理解、相互作用だとおっしゃいました。しかし、私はそれだけではまだ、足りないと考えます。何故ならば、人の心は複雑だからです。表には理解や尊重をしても裏には必ず自分の自尊心の傷が残ります。私はその傷もなく完全に相互尊重、相互理解、相互作用ができたらと考えます。

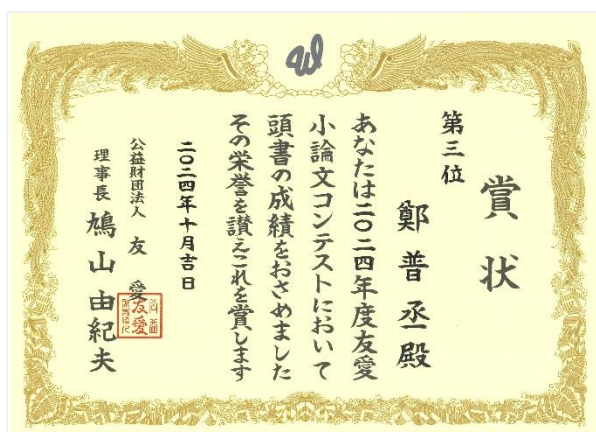
4. そのためにどうすればいいのか！？

友愛を実現し輝く未来のみちしるべをつくるにはどうすればいいでしょうか？まず、家族の友愛のために、毎日家族と話をして感謝の心持ちを持つことです。家族は一つの家と一緒に済むと感謝の気持ちを失くなります。なので、褒められた時から、怒られた時まで全

ての瞬間に感謝を忘れてはいけません。そして、他人間の友愛のために、自分の固執を捨てることです。元々戦争の原因は各々の価値観の影響もありますが、人の固執が価値観にまで与えます。そのため、固執を捨て理解や尊重をします。最後に国家間の友愛です。私達は歴史の問題で今だに戦争が続いています。しかし、このままでは国や世界の終りが来るかもしれません。それを防ぐために、正しい歴史を取り戻し、政治家は自分の国の罪を認めることが必要です。

5. まとめ

今、私達は分かれ道で迷っています。今までの志のままに暗い絶望の未来へ行くのか、それとも、今からでも志を変えて努力して輝く希望の未来へ行くのか、友愛は自分自身から始まることです。誰かが始まることを待ってはいけません。まず、家族に感謝を伝えることから初めて国の中に親しくなるまで諦めてはいけません。そして、恐怖を持ってはいけません。勇気を持ってください。それが「輝く未来」の‘鍵’です。



私にとって友愛とは

林珉煜 Lim minwook

ありふれた大学生の私には、実は普段から友愛という単語の意味があまりよく感じられませんでした。

ただ友達や兄弟の仲が良い、それ以上それ以下でもなかっただけです。

それで友愛という単語を聞いた時、ただ人同士の和合程度だろうという考えだけでした。

ですが、鳩山由紀夫前首相は国家と国家間の価値観、経済発展、戦争いろいろな局面にわたって友愛というものが重要だとおっしゃいました。

友愛というものがこの社会にどのように根付き、人々にどのような利益をもたらすことができるのかを多方面に説明してくださいました。その中で一番多くのことを考えたのは「友愛と博愛」でした。博愛は困ったり苦しんでいる人々に一方的に支援する一方的な愛、つまり一方通行という言葉と共に友愛は相互補完的なものだという話をしてくださいました。

その後、私は博愛という単語が現代社会でどのような用途で使われているのかについて調べ、講演の内容とも照らし合わせてみて、それなりの頭を絞り出してみました。

国際的な難民、ロシアとウクライナの戦争に対する支援、お互いにまつわる感情を探り出し、戦争を止める。

このような社会的な 이슈の私なりの結論は結局、他人のための感情がお互いを前に進むことができる原動力にならないといけないということです。

私は、海外に歩き回って新しい人に会うのが好きです。そして肌

の色、環境、国のすべてが違う若者たちが共通して言う言葉は「最近の社会は嫌悪の社会だ」です。

自分の利益だけを追いかける最近の社会に友愛という感情を皆が考えるなら、

その感情を社会の原動力と考えるなら、世の中に幸せな人がもう少しは増えるのではないのでしょうか？

日本の大学生たちとの地球温暖化についての討論も、結局“私”を除いた他の人を考えなければならないという点において友愛が必要だと感じました。

討論会で私と一緒に意見を交わしていた日本の大学生の友人は、ゴミの分類に点数をつけるとそれは、友愛と呼べるのだろうか？ という考えで討論もしてみました。また、ゴミに対する私たちの行動が未来の社会にどんな影響を及ぼすのかについて討論もしました。

私は環境問題解決のための努力をすることも、他人を理解しようと努力してみることも、現代社会を生きていく人々に最も重要です。

また、そのような努力は私を含むすべての人々がより価値のある未来を築いていけるということがわかりました。

友愛という感情の価値は、今日より幸せな明日のための感情だと確信したいです。

このような機会を提供して下さったすべての方々に感謝申し上げ、友愛ということ振り返らせて下さったことに感謝いたします。



〈私にとって友愛とは〉

Park Purunsan

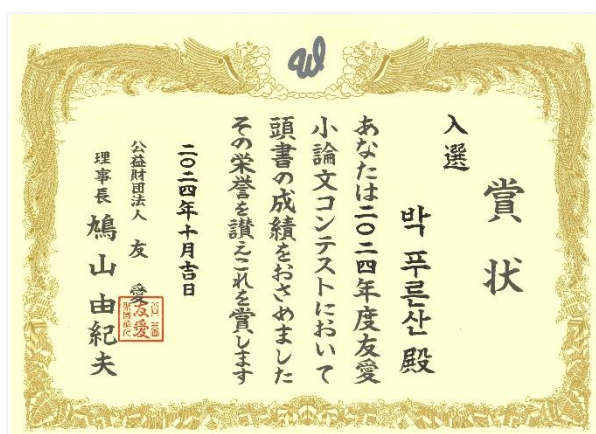
2023年、日本で学び生活する間、友愛について考えることが多かった。他国での生活は新しい経験であふれ、楽しくもある一方、私が完全な異邦人、すなわち外国人だと感じ、限りなく孤独感を感じる時もあった。その度に日本で会った縁は私に大きな力になってくれた。その時、私は国籍と年齢に関係なく、お互いに助け合うことができるということを悟った。そのような関係は時に既存の観念を破る新鮮な経験をさせてくれた。特に、お互いの文化的違いによって発生する問題は、どれがより正しいかを問い詰めるより、違いを認めてそのまま受け入れる姿勢が必要だった。このような一連の経験を通じて、私は友愛とは'尊重から始まること'と考えるようになった。

尊重から始まった友愛はどのようなものだろうか？ 私は「関係ある皆が自分の本来の姿で、ありのまま存在できること」だと思う。そのような友愛が基盤となった環境では、皆が自分の言いたいことを話し、相手の話に耳を傾けて聞くことができる。友人や家族関係、さらに広い関係でこのような友愛を作っていく過程は決して容易ではないだろう。しかし、私はこのような過程が積み重なって作られた友愛のある関係が、そうでない関係よりさらに強固に長く持続できると考える。それでは、どうやってそのような友愛関係を作ることができるだろうか。

私は次のような方法で尊重から始まった友愛を作っていけると思う。まず、自分の価値観を相手に強要せず、相手の考えや意見に対して無条件に自分の価値観を変えないことだ。ただ、ありのままに話して聞く過程を通じ、お互いの違いを知り理解できると思う。

次に、互いに異なる方式で知っている内容について対話を交わすことだ。特に韓日の歴史問題は言及しにくいテーマだと考えられる。しかし、両国とも自国の正確な歴史を知り、過ちを繰り返さないよう努力する姿勢を持っていれば、お互いをよりよく知る機会になると思う。

私はこのような考えを土台にして今まで多様な人に会って、多彩な経験をすることができた。おかげで私が経験した友愛は愛、感動、幸せになったりもし、心配と憂慮を越えて「遠く離れていても心さえあればいつか会える」という気持ちを持てるようにしてくれた。私が今まで会ってきた縁も、これから会う縁も大切に考え、尊重から始まる友愛を続け、さらに多彩に広げていきたい。私がこれから会って作っていく友愛はどんな形なのか。



私にとって友愛は？

金睿薰 Kim Yehoon

1. はじめに

私にとって友愛は地球を愛することだ。私たちは地球に住んでいる。地球から食べ物を得て生活している。地球から資源を得て建物を建てて暮らしている。地球はこのような多くの利益を私たちに与えている。しかし最近、私たちは地球の環境を破壊している。私たちが住んでいる場所、すなわち地球を守ること、愛すること、それが私にとっての友愛だ。

2. 本論

生物多様性が失われている。地球に住む生命体を保存し保護することが地球を守ることであり、地球を愛することだ。生物多様性の損失は自然な現象ともいわれる。しかし、生物多様性の損失は人間によるものだ。最近の WWF（世界自然保護基金）の「生きている地球レポート 2022」によれば、1970 年から 2018 年の間、野生生物の個体群は平均 69%減少している。生物多様性の損失や生態系と生態系サービスの劣化が起こる背景に、次のことが分析されている。この報告書は特に過去 50 年における急速な経済成長、人口の増加や国際貿易、テクノロジーの多様化などによってエネルギー、食料、その他原料の需要が増加したという。人間と共に生きていた様々な生命体たちが人間によって消滅の危機に瀕している。

プラスチックのごみが環境を悪化している。経済協力開発機構（OECD）が発刊した「2022 グローバルプラスチックの展望」によれば、世界的にプラスチックの年間生産量は、2000 年の 2 億 3400 万トンから、2019 年には 4 億 6000 万トンへと倍増した。すでに大量のプラスチックが水生環境に蓄積されており、1 億 900 万トンのプ

プラスチックが河川に蓄積され、3000万トンが海洋に蓄積されている。2019年だけでも、610万トンのプラスチック廃棄物月川、湖、海に流出した。河川でのプラスチックの蓄積は、誤って管理されたプラスチック廃棄物が大幅に削減されたとしても、今後数十年間、海洋への漏洩が続くことを意味している。さらに、これらのプラスチックを片付けることは、プラスチックがますます小さな粒子に分解されるにつれてますます難しくなり、費用もかさむようになっている。このように私たちが利用するプラスチックは環境を破壊し、地球に被害を与えている。

3. まとめ

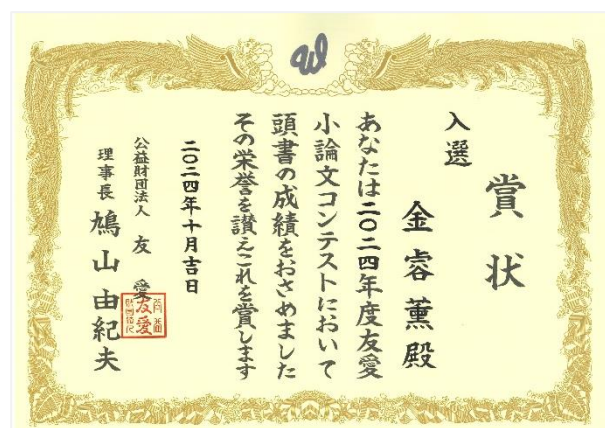
地球は私たちに多くのものを与えてくれる。食べ物、着るもの、家だけでなく、すべてが地球からもらったものだ。地球は常に私たちに色々なものを与えてくれるが、私たちは地球を保護せず、むしろ破壊している。地球を尊重せずにこのまま破壊を続ければ、私たちが住む場所さえ失ってしまうだろう。私たちが地球を尊重してこそ、相互尊重の関係が形成される。地球を守ること、愛すること、それが私にとって友愛だ。

参考文献リスト

世界自然保護基金 - 「生きている地球レポート 2022」

経済協力開発機構 - 「2022グローバルプラスチックの展望」

(Global Plastics Outlook - Economic Drivers, Environmental Impacts and Policy Options)



私に「友愛」とは

金材浩 Kim Jaeho

はじめに

2019年末に発生した新型コロナウイルスは、世界中の社会構造と人間関係に深刻な影響を及ぼしました。このパンデミックにより、私たちの生活は大きく変わり、それまでの人間関係や社会的結束は大きな試練にさらされました。さらに、この危機は過去の歴史的教訓を無視し、戦争や対立の再燃をもたらしました。本文では、現代社会における「結束力」の重要性と、その衰退がもたらす影響について考察し、再び結束力を強化するための「友愛」の役割を論じます。

結束力の形成とその意義

「絆の輪」とは、私たちが生まれてから現在に至るまでの全ての人間関係を象徴するものであり、家族、友人、知人、社会といった様々な関係性の連帯感によって形成されます。初めは細い糸のような関係も、時間と共に親密さを増し、多様な人間関係が連結されることで強固なものとなります。この過程を「結束力の強化」と呼びます。結束力は、対話や感情の共有を通じて自然と強化され、相互理解と信頼を基盤に築かれます。

結束力の弱化とその要因

一方で、結束力の弱化もまた自然に進行します。人々が疎遠になり、争いが激化し、互いへの不信が増すことで、絆の輪は徐々に弱まります。現代社会においては、冷戦時代から続く国家間の対立、資源を巡る争い、宗教的対立などがその要因として挙げられます。さらに、地域嫌悪や性差別、ジェンダー紛争といった社会内部の対立も、結束力の弱化を助長しています。メディアによるこれらのテーマの煽りも、大きな影響を与えています。

「Schadenfreude (シャーデンフロイデ)」というドイツ語の言葉があります。これは「他人の不幸を見たときに喜びを感じる

心理」を意味します。この心理現象は、現代社会の多くの問題の根底にあると考えられます。なぜ他人の不幸を喜ぶのか、その理由は「友愛」の欠如にあります。友愛とはすなわち結束力であり、人々が互いを尊重し、支え合う姿勢を意味します。

コロナ禍における結束力の試練

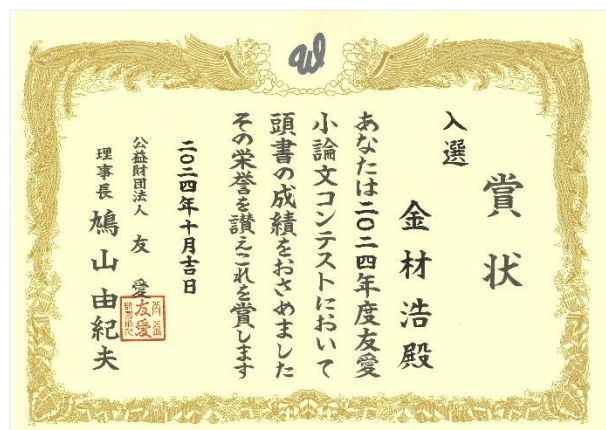
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ソーシャルディスタンスが推奨され、人々の物理的な距離が広がりました。これは公衆衛生の観点から必要な措置でしたが、その一方で人々のコミュニケーションは減少し、相互尊重や相互補完の必要性を忘れがちになりました。この結果、個人主義が蔓延し、結束力はさらに弱まることとなりました。

結束力の再構築と「友愛」の重要性

この状況を改善するためには、結束力の再構築が不可欠です。私たちは過去の残酷な歴史を反省し、同じ過ちを繰り返さないために行動する必要があります。結束力、すなわち「友愛」は、こうした行動を支える基盤となります。政治思想や理念の違いを超え、人間そのものに焦点を当てた思考が求められます。「人間に対する深い信頼と愛」を基盤とすることで、お互いの幸福を追求する方法を見つけることができるでしょう。

結論

現代社会における分断は、「友愛」の欠如に起因するものです。新型コロナウイルス感染症が引き起こした危機を契機に、私たちは結束力の重要性を再認識し、それを強化するための行動を取る必要があります。結束力の強化は、より良い社会を築くための鍵であり、友愛に基づく人間関係の再構築がその道筋となるでしょう。





2024. 5. 27(月)
全州大学校にて







友愛のロゴマーク

左は **Y** (英語の You) 右は **I** (英語の I) で You-I (友愛) です。

全体の形は、We (私たち) の **W** であり World (世界) の **W** です。

You and I make We and World

あなたと私、私たちが友愛の世界を目指しましょう！

公益財団法人 **友愛**

<https://yuai-love.com>